

みなさん、なつやすみがおわって、もうがっこうがはじまりましたが、さんねんながら、きょうかいがっこうはまだはじめることができなくなりましたね。

9がつ12にちまできょうかいのごミサがないので、あうことができませんね。きょうかいがっこうコーナーでもつながれば、すこしなくさめになるので、よんでくださるみなさまに
かんしゃしています。

そのとき、イエスはテイルスちほうをさり、シドンをへてデカポリスちほうをとおりぬけ、ガリラヤちほうへやってこられた。ひとびとがみみがきこえずしたのまわらないひとをつれてきて、そのうえにてをおいてくださるようにねがった。そこで、イエスはこのひとだけをぐんしゅうのなかからつれだし、ゆびをそのりょうみにさしいれ、それからつばをつけてそのしたにふれられた。そして、てんをあおいでふかくいきをつき、そのひとにむかって、「エツファタ」といわれた。それは「ひらけ」といういみである。すると、たちまちみみがひらき、したのもつれがとけ、はっきりはなすことができるようになった。イエスはひとびとに、だれにもこのことをはなしてはいけない、とくちどめをされた。しかし、イエスがくちどめをされればされるほど、ひとびとはかえってますますいいひろめた。そして、すっかりおどろいていった。「このかたのなさったことはすべて、すばらしい、みみのきこえないひとをきこえるようにし、くちのきけないひとをはなせるようにしてください。」

きょうのふくいんをよんだらせつめいをしなくてわかったとおもいます。おもしろいことがかいてありますね、{ひとびと} たくさんひとがイエスさまのことをして、みみのきこえない、またはなせないひとをつれてきました。この「ひとびとは」きっとイエスさまがこのひとをなおしてくれることをかくしんしていました。

そして、ふくいんにかいてあるように、そのひとをぐんしゅうのなかからつれだしてゆびをみにいれ、したにふれられた、そして「エツファタ」「ひらけ」といって、そのひとがなおった。それをみたひとびとは、イエスさまがなおしてくれることをわかっていたのに、すごくおどろいていたと、もかいてありますね。

みみがきこえない、はなしもできない、このひとが、きこえるようになって、はなせるようになって、うれしかったでしょう。イエスさまのおかげで、これからのじんせいはあかるいじんせいにかわったことをかんしゃしたのでしょうね。

わたしたちにもイエスさまひとりひとりに「ひらけ」とまねいてくださっています。どんなときも、イエスさまにこころをひらいて、じぶんにイエスさまがなにをしてほしいとおもっていらっしやるのか、みみをすましてきいていきましょう。

まず、まいにちのいのりをわすれずに！いのっているうちに、イエスさまがなにをいってくださっているのかわかるでしょう。